『かしぶち哲郎 sings リラのホテル鑑賞記』
Text by　大場裕子

Live Report
kashi no kai

「夢の競演」とはまさにこのこと
～「かしぶち哲郎 sings リラのホテル」鑑賞記～by 大場裕子

「今度のライブは『リラのホテル』からの選曲が中心、大物女性ゲスト登場予定！」

・・・うーん、なんて魅力的。大物女性ゲストって、あのひとだろうか。いやいや、そんな夢のようなことが・・・本当にあったらどうしよう！
なんとかして行かなくちゃ、一生、後悔するんじゃないか、そんな気分にさえなってしまった。

と、いうわけで駆けつけた、南青山 MANDARA。イスやらマイクやらが所狭しと並べられ、向かって左にグランドピアノが据えられたステージ。そこで繰り広げられたライブは、相変わらずダンディなかしぶち氏に豪華ゲスト陣の演奏が加わり、「夢の競演」という言葉はこういうときのためにある、そう思わせてくれるものだった。

１．名曲が次々と・・・かしぶち氏の弾き語り
かしぶち氏のボーカルとギターだけで演奏されると、聴き慣れた曲の印象もまた違ってくる。この日のライブは「Ｄ／Ｐ」から始まった。ＣＤで聴くときよりも、穏やかな感じだ。「緑の果て」や「Freinds」も、原曲の女性ボーカルが抜けて演奏もシンプルになった分、華やかさや優雅さよりは渋さがきわだち、オトナのムードが漂う。その一方で、息子さんのために「小さな兵士」という新曲を作られたというエピソードからは、かしぶち氏の父親としての顔がちらりとうかがえ、ほのぼのとした気分にさせられた。

そして、ギターをピアノに変えての１曲目は、「春の庭」だった。いつ聴いても、実にいい曲だ。ふんわり幸せな気分になれる。かしぶち氏の曲には、美しい風景や映像がイメージされるものが多いけれど、この曲はその中でも代表格だと思う。さらに、「紡ぎ歌」。１０月岡山でのソロ・ライブのときは、客席からリクエストされるも、「その曲は今、一番遠いところにある」とか何とかおっしゃって、結局歌ってはくださらなかったのだが・・・さすがは「頼まれるとイヤとは言えない」かしぶちさん！あのときリクエストした人が、今日も来てるといいな、と思った。

２．チェロって凄い！驚きの名演奏！
この日のゲストは２人。まず現れたのがチェリスト・四家卯大氏だった。いやぁ、驚いた。「柔らかいポーズ」や「眩暈」は、上品でありながらも甘美で官能的な、かしぶち氏の本領発揮と言えそうな曲だけれど、チェロの深みのある響きにサポートされると、

こうも格調高くなるものなのか。

さらに、「プラトーの日々」のかっこよさといったら！チェロの音色には、原曲ではバイオリンによる、神経を逆撫でするようなあの音も加わった。四家氏は弦を左手でぐーっとこすりながら出しておられたようだったけれど、あんな刺激的な音も出せるとは、弦楽器の奏法とは幅広いのだなあ、ううむ、凄い。

３．矢野顕子さん登場！もう夢心地・・・
もう１人のゲストは、期待通り、矢野顕子さんだった！現れた矢野さんは、毛先だけ外向きにカールさせたストレートヘアに、黒いノースリーブのトップでおしゃれして、でも、着慣れた感じのグリーンのギャザースカートは、友達を訪ねるときのようにリラックスした風情。

「（ツアーの中で）忙しいのに、よく来てくれたねえ」
というかしぶち氏への返事は、
「かしぶち君のためだもの！」

という、熱い友情あふれる一言だった。「何やろうか？」「屋根裏かな。」そんなやりとりに続くのは、もちろん「屋根裏の２匹のねずみ」。この曲が醸し出す、古いヨーロッパ映画にありそうなせつない雰囲気に、改めてはっとしつつも、軽やかに動く矢野さんの手元に目は釘付け。私が陣取っていたのは、ピアノを弾く人をほぼ真後ろから見ることの
出来る位置だったのだ。

矢野さんがピアノを離れ、かしぶち氏と共に中央のテーブルへ。グラスやお皿が運ばれてきて、テーブルを挟んだ２人の会話が始まる、といった演出。何が始まるのかな？と思っていたら、流れ出した前奏は「Dialogue」！ずっと前から、この曲をいつかは生で聴きたいものだと思い続けてきたけれど、そのときがこんなに早く来ようとは。突然、「今日、私はこれを聴きにきたんだ」と、頭に閃いた。ああ、感激。泣けてくる。

矢野さんがピアノに戻り、かしぶち氏も再びギターを手にして、チェリスト四家氏も入って「リラのホテル」。かしぶち氏のボーカルに矢野さんのコーラスが、先の２曲とは違ってやや控えめに、ふわっと絡まる。
それにしても、なんと贅沢な顔合わせだったことか。矢野さんの弾くピアノの音は、かしぶちさんに比べ柔らかく、まあるい感じだった。そんな発見も嬉しい、夢のようなひとときだった。

※ＨＰ掲載に当たりオリジナル原稿より改行位置変更させて頂きました。
（樫の会 KRAFT. WARTZ）